

**マンダム、
日本動物実験代替法学会より感謝状
～動物実験代替法研究助成金交付への取り組みを評価～**

株式会社マンダム（本社：大阪市、社長執行役員：西村元延 以下マンダム）は、動物実験全廃に向けた動物実験代替法の開発に取り組んでいます。その研究の一環として、2007年より「マンダム動物実験代替法国際研究助成金」の公募を行い、翌2008年より交付を行ってきました。その功績に対して、2011年11月11日に日本動物実験代替法学会より感謝状が授与されました。

【「マンダム動物実験代替法国際研究助成」の継続実施を評価】

当社は、動物実験代替法分野の研究の発展と活性化を目的として、2007年より「マンダム動物実験代替法国際研究助成金」の公募を開始し、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募り、これまでの4年間で計12題の研究テーマに対して研究助成金の交付を行ってきました。

その取り組みに対して、2011年11月10日～12日に宮城県仙台市にて開催されました「日本動物実験代替法学会第24回大会」において、本学会より感謝状が授与されました。今回の感謝状授与にあたり、4年間にわたり研究助成を行ってきたという「継続した取り組み」が特に大きく評価されました。当社も、「継続した取り組み」が動物実験代替法分野の研究の発展と活性に繋がると考えており、今年も11月1日より第5回目の本研究助成の公募を開始し、研究助成が決定したテーマに対し、2012年4月より研究助成金の交付を行う予定です。

＜参考＞

これまでの助成研究テーマは以下のとおりです。

	氏名	所属	研究課題
第 1 回	杉林堅次	城西大学薬学部	異なるト三次元培養皮膚モデルによる化合物の浸透性
	黒澤努	大阪大学医学部	緑色蛍光タンパク質を取り込んだES及びiPS細胞を用いた動物実験代替法の確立
	Jae Hak Park	ソウル国際大学	角膜混濁試験(BCOP)/鶏摘出眼球(HET-CAM)のバリテーション
	Lee Jeong Ik	東海大学医学部	腹腔内注射による麻酔薬の腹腔内投与が内臓臓器に及ぼす有害性および、問題点に関する考察
第 2 回	小森喜久夫	東京大学大学院 生技研	In vitro 毒性試験系に有用な最小細胞集団の構築と機能評価
	大戸茂弘	九州大学大学院 薬学系研究科	In vitro 細胞培養における時間薬物動態学評価システムの構築
	前田和哉	東京大学大学院 薬学系研究科	ト肝臓組織チップと遺伝子発現細胞を併用した肝臓での薬物の解毒能力および薬物間相互作用の定量的予測法の開発
第 3 回	楠原洋之	東京大学大学院 薬学系研究科	ト由来試料と強制発現系を用いた in vivo 薬物腎排泄能力の定量的予測法の開発
	高木昌宏	北陸先端科学技術 大学院大学 マテリアルサイエンス研究科	生体模倣膜タンパク質解析によるトレイズ試験代替法の開発
第 4 回	李禎翼	建国大学	2種類以上の市販細胞株で構築された生体模倣組織(biomimetic tissues)の開発および活用性の検討
	有海秀人	北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター	虚血性心疾患治療薬開発におけるコネクシン43の脱リン酸化反応とアセチルコリンの関与
	山本直樹	藤田保健衛生大学 共同利用研究施設 分子生物学/組織化学	新規作出したト角膜不死化細胞(iHCE-NY)を用いた眼刺激性試験評価系の確立

本研究助成の目的は、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることにあります。この中から、将来有用な動物実験代替法が開発されることを期待しています。